お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

■　柳師ご夫妻は、教団の会議および諸行事に出席するため、7月14日(日)～8月1日(木)まで韓国に行かれます。この期間中の主日礼拝メッセージはZoom を通して配信されますので、皆さまの祈りとご理解をお願いいたします。

■　三分ブリッジ伝道法を共に学びましょう！
教会では、誰でも簡単に福音を伝えることができる「三分ブリッジ伝道法(3-Minute Bridge)」を、教会全体で覚えて実践していくことを目指しています。

聖徒の為に祈りましょう。
・コロナとインフルエンザから守られますように。
・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)

「正しい選択をしましょう」
マタイ7章13～27節

13 狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広く、そこから入って行く者が多いのです。14 いのちに至る門はなんと狭く、その道もなんと細いことでしょう。そして、それを見出す者はわずかです。…21 わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。…26 また、わたしのこれらのことばを聞いて、それを行わない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人にたとえることができます。27 雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまいました。しかもその倒れ方はひどいものでした。」

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 北原明子(祈祷)
夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 平澤寿子(祈祷)
水曜礼拝 松島スヤンティ(司会) 高木はつえ(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校（小学生まで）	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会．火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-29 号　　2025.7.20

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会

395-0807 飯田市鼎切石 3883-4
TEL 0265-56-8286
www.iidahc.com

牧　師　柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)
副牧師　柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝　　AM 11:00～

賛美リード　　韓芽唯

信仰告白　　（使徒信条）

代表祈祷　　北原明子

特別賛美　　インマヌエル聖歌隊

お知らせ

聖書個所　　マタイの福音書 7:13-27

（正しい選択をしましょう。）

メッセージ　　柳承吉牧師

賛　美　　神の家族

祝　祷　　柳承吉牧師

夕方賛美礼拝　　PM 2:20～

賛美リード　　韓芽唯

代表祈祷　　北原孝子

聖書個所

メッセージ　　証しメッセージ

韓芽唯

主の祈り

水曜礼拝　　PM 7:00～

司　会　　観芽唯

代表祈祷　　北原孝子

聖書個所　　証しメッセージ

メッセージ　　松島スヤンティ

今週の御言葉

「正しい選択をしましょう」 マタイ７章 13～27 節

私たちは日々「選択」しながら生きています。しかし、正しい選択をしなかったとき、私たちにはその「結果」に対する責任が伴います。人生には、選択の自由があります。しかし、その結果は自分で責任を負わなければなりません。だからこそ、私たちは「正しい選択」をしなければならないのです。今日私たちが読んだマタイの福音書７章は、主イエスの「山上の説教」の締めくくりです。主はここで三つの比喩を通して、私たちに二つの道の選択を迫っています。

1. 二つの門と二つの道（13-14 節）
2. 二つの木とその実（15-23 節）
3. 二つの家とその土台（24-27 節）

特に、この中の第一の比喩「二つの門と道」に注目し、御言葉から教えを受けたいと思います。

二つの門と道 ― 信仰の選択

広い門と道とは、律法学者やパリサイ人たちの義、つまり「人間の努力による義」です。彼らは外見的な敬虔さを誇り、自分を義としました。一方、狭い門と道は、主イエス・キリストの十字架の恵みによって与えられる「神の義」を意味します。この義は、私たちの努力ではなく、ただイエス様への信仰によって与えられるのです。

二種類の人々 ― 多くの者と少数の者

主は「広い道を行く者は多い」と語られました。なぜなら、その道は楽で、快適に見えるからです。自己中心的な生き方、世の流れに任せる生き方です。しかし、それは滅びに至る道です。反対に、狭い門と道を歩む者は少ない、なぜならその道は苦しみと自己否定、犠牲を伴うからです。でも、その道には「命」があります。真の平安と祝福、そして永遠の命へと至る道なのです。

二つの結末 ― 滅びと命

広い門と道は、最終的に「滅び」に至ります。狭い門と道は、最終的に「命」に至ります。選択の違いが永遠の行き先を決めるのです。これは「choice（選択肢）」ではなく、「decision（決断）」です。私たちは今、「どちらか一方を選ぶ」信仰の決断を迫られています。

信仰の道の実践 ― 狭い道を生きるとは？

では、狭い門と道を選ぶとは、どんな生き方を意味するのでしょうか？

主イエスは山上の説教でこのように教えられました。

*心の貧しい者となること　*柔和な者、義に飢え渇く者、憐れみ深い者になること　*平和を作る者になること　*世の光、地の塩となること　*右の頬を打たれたら左の頬も差し出すこと　*敵を愛し、迫害する者のために祈ること　*裁かず、争わず、他人を尊ぶこと

これが狭い道の生き方です。決して易しくはありません。しかし、この道には祝福があり、命があります。

今、あなたはどの門の前に立っているでしょうか？

どちらの道を歩んでいるでしょうか？

イエス様はおっしゃいます。「狭い門から入りなさい。」まだその門は開かれています。まだ命の道は前にあります。主イエスの手を取り、喜びと感謝をもって、その道を最後まで歩み続けましょう。

そこには永遠の命があり、主の栄光が待っています。

アーメン。